

編集後記

先輩や新進気鋭の方々の原稿多数を頂戴し、昭和六十年年度の会誌第一号をお届けします。内容も多岐にわたり、大分県地方史の解明上、喜ばしいことである。今日、各地で市町村誌や個人研究書が刊行されているが、全国的にみても見劣りのしない充実した内容のものを、次々に生み出して行くためにも、遠慮のない建設的書評が望まれるが、久し振りに書評二編を寄せていただいて、喜んでゐる。これからも会員各位から、かゝる書評や、各地の動向、史料紹介など、多数寄稿されることを事務局では望んでいる。課題は予算の関係で、製版を伴う原稿は、一ページ分までは会で負担するが、それ以上のものについては、執筆者負担の原則を厳守して行くので、表現等についても一段の工夫をお願いしたい。

なお、表紙裏の会告のとおり、本誌第一号から第二九・三〇号までを全四巻にまとめて復刻することになった。会員のお求めと会員外の方々への普及を切望するものである。

(後藤記)

昭和六十年六月二十五日 印刷
昭和六十年六月三十日 発行

大分県地方史 第二一八号

編集者

後藤正二

発行者

渡辺澄夫

印刷者

中尾寿孝

別府市中央町九一―一五

印刷所

日の丸印刷株式会社

(電話 〇三三四一)

発行所

〒八七〇―一一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関八一五二九四番)